

旭丘高校教育通信

—臨時休校(家庭学習)期間・特別号(第1号)—

保護者・生徒の皆さん

学校の正常な教育活動を再開できる日まで

心を一つにして力を合せて行きましょう

これから、皆さんからの声に応じて学校の現在の取り組み等を

〈Q&A〉スタイルのニュースでお知らせしていきます。

桜の季節もいつしか過ぎ、若葉の緑が目にも鮮やかなこのごろですが、生徒の皆さん、保護者のみなさん、いかがお過ごしですか。

新型コロナウイルス感染症拡大にともなう4月7日の政府による「緊急事態宣言」発令と所轄庁の方針をふまえて本校としても5月6日までを臨時休校(家庭学習)期間とする措置を取ってからはや二週間が経ちました。生徒の皆さんは、仲間と共に学習やホームルームの活動に取り組むことが出来ない日々のなか、辛い思いや将来への不安を胸に抱いて過ごしているのではないかと心配しています。

皆さんの臨時休校(家庭学習)期間中も、学校は学校長と副校長・教頭・事務長、日直の先生による運営態勢を取り、この状況の中でも皆さんの授業・学習を出来る限り保障していくための取り組みや、皆さんの学ぶ環境の整備、対外活動などに取り組んでいます。

今後は、この間皆さんから寄せられた声などに応え、学校の現在の取り組み等をQ&Aスタイルのニュースでお知らせしていきます。

★第2号以降は随時学校のホームページ上に掲載して行きますので、ホームページをこまめにチェックしてください。

〈Q〉新型コロナウイルス感染症拡大にかかわる「緊急事態宣言」の対象が全国に拡大され深刻化するなかで、学校の授業が再開されるのがかなり先になるのではないかと心配しています。学校としては、この状況に対してどのような対応を考えていますか。

〈A〉学校としても、5月6日以降すぐに通常の形での授業や教育活動が再開できる可能性は少ないと見ています。具体的には、今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況と政府・所轄庁の方針をふまえて方針・計画を立てて生徒と保護者の皆さんにお知らせしていきます。学校としては、こうした状況の中で情報機器を活用した学習サポート態勢の構築を図る取り組みを進めています。

その第一歩として、保護者・生徒の皆さんに対して学校から必要な連絡を速やかに行うためのメール一斉送信態勢をつくることを決めました。皆さんに学校のホームページにアクセスしてもらい、メールアドレスを登録してもらうことでこれを始めていきます。詳しくは、このニュースと一緒に案内文を同封しますので、読んで手続きを進めてください。

さらに、学習のサポートについても、スマートフォンなどの情報機器を用いて行うことが出来るシステムづくりの取り組みを進めています。

具体的には、無料で利用できる“Google Classroom”を活用して担任や教科担当の先生から皆さんの持つスマートフォンなどの情報機器に学習課題を送り、皆さんがその課題のレポートを情報機器を使って送り返したり、情報機器を使って学習に対する質問が出来るシステムの構築を検討しています。今後逐次進捗状況をお知らせしていきます。

〈Q〉学校で出された学習課題に取り組んでいるのですが、分からないところもあり不安です。

〈A〉現在学校が皆さんに課している学習課題については、その内容について今後授業が再開されていく中で更に補い、皆さんの理解が進むようにサポートをしていきますので、心配しないでください。

また、学習のこととともに家庭での生活が長くなる中での皆さんの心配事や先生に聞いてみたいことなどは、学校から配布された「生活と学習の記録」に率直に書いてください。これまでつけた記録はこのニュースと一緒に同封する返信用封筒で送り返してください。今後担任の先生が目を通し、皆さんに対して必要なサポートをしていきます。

〈Q〉3年生なのですが、この状況の中で進路のことが心配です。

〈A〉新型コロナウイルス問題との関係で大学・短大・専門学校の入試に係る日程が遅れる、企業の求人数が減少するといった傾向が想定されますが、学校としては、こうした状況についての調査を進めながら、あらためて皆さんの進路保障にかかわる十全な態勢を取っていきます。

当面、皆さんの進路希望を早急に集約し、先行して取り組みが必要な生徒に対しては、個別に対応を図っていきます。既に3年生の皆さん配布されている進路希望調査票を、このニュースと一緒に郵送される返信用封筒に入れて送ってください。また、上級学校進学者を対象とした奨学金の申請に関する案内も同封されていますので、積極的に活用してください。

〈Q〉第2校地の総合グラウンドが人工芝化されると聞いていますが。

〈A〉日常の授業とサッカー・陸上のクラブ活動、さらに地域に公開(貸し出し)することを目的とした第2校地(久野・荻窪キャンパス)総合グラウンドの再整備・人工芝化(公式試合が出来るサッカーコートと小コート2面、フットサルコート4面を具備)は3月末に完成し、現在夜間に使用できるようにするための照明機器を設置する取り組みがなされています。また、更に皆さんの授業やクラブ活動の環境を整えるために、新たに隣接地を取得してグラウンドとして整備する取り組みもなされています。

〈Q〉就学支援金の申請等、学校にかかわる諸手続きのことが心配です。

〈A〉就学支援金の申請については、4月10日付の通知に同封した返信用封筒で旭丘高校事務所まで送ってください。現在事務所で態勢を取って申請実務を進めています。また、新型コロナウイルス感染症拡大の状況をふまえて所轄庁なども提出締め切りを延ばす対応をしていますので、多少期日が過ぎても対応が可能です。その他、必要な提出物も今回同封する返信用封筒にてお送りください。直接お聞きになりたい事柄がありましたら事務所(0465-24-2227)までご連絡ください。

〈Q〉入学式に出れなかったのがとても残念です。様子を知りたいのですが。

〈A〉学校として、入学式の写真やビデオを保護者の皆さんに見ていただくことが出来るようにしていくことを検討しています。これについても今後のニュースでお知らせしていきますが、このニュースの裏面に地域紙「神静民報」が報じた本校の入学式の様子と、新入生代表の言葉を載せて紹介させていただきます。

令和2年4月7日の入学式、1年UA組の下田紗矢華さんによる「新入生代表のことば」を以下に掲載します。

桜花爛漫（おうからんまん）の春、明るい陽光と爽やかな風につつまれ、私たちは旭丘高校へ入学しました。

生徒の自主的な活動と新しい学びに共感し、旭丘高校の扉をたたいた私たちは、今、希望で胸がいっぱいです。

「どんな悩みも一緒に考えてくれる先生や仲間がたくさんいます。」と、語る先輩の話を聞いて、私たちが全校が、一つになれる自治集団づくりに参加していきたいと実感しています。学習やスポーツ・HRの活動など、何事にも積極的に取り組み、自分で考え、行動することを通して自分を成長させていく決意です。

私は大学進学クラスに入学しました。私は両親御影響で、将来建築関係の大学に進学したいと考えています。旭丘高校の学校説明会で総合技術科のブリッジコンテストの授業の話しをきき、将来の夢と高校での学びが結びつくと思い、受験を決意しました。

今まで前に出ることが少なかった私は、高校で勉強とともに、クラブ活動や生徒会活動など、新しいことに挑戦してみたいと思います。

また、旭丘高校は、120年近い歴史と伝統があり、地域に根ざした学びがある学校であることを知りました。これまで、先輩の皆さんが築き上げた歴史を引き継ぎ、今度は私たちが、未来へ向けてそれを更に発展させていくことが大事な課題です。私たちは、この日を第一歩として、これからの道のりを歩んでいきます。

学校関係者のみなさん、諸先生方、私たちの歓迎のためにご参列下さいまして本当にありがとうございます。未熟な私たちですが、どうかご指導の程よろしくお願いします。

私たちは、旭丘高校の生徒であることの責任をしっかりと自覚し、先輩たちが築いた歴史と伝統を引き継ぎ、更に発展させることを誓い、新入生のことばとさせていただきます。

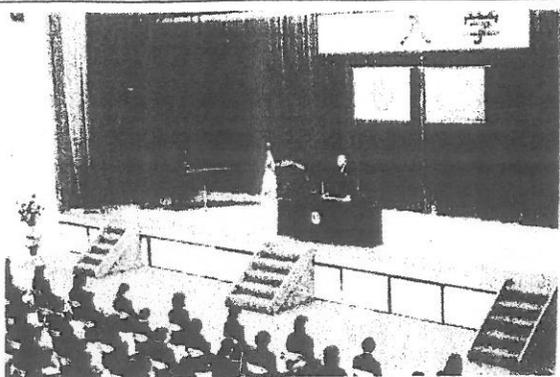
二〇二〇年四月七日 新入生代表 下田紗矢華

県西各地で高校の入学式

小田原の私学2校など

防予底
染徹感
を

4月の新年度に入り、私立の学校でそれぞれ、県西部各地の公立校、入学式が執り行われ、このうち小田原市内の私立は2校。



相洋高校の入学式で式辞を述べる杉崎校長（上）、旭丘高校の入学式で式辞を述べる水野校長

同市城山の明德学園相洋高校（武井清忠理事長、杉崎朗校長）と同市内の新名学園旭丘高校（水野浩理理事長・校長）では、7日に入学式が行われた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため保護者の参加はなく、新入生と教職員・学校関係者のみが参加。感染予防のため消毒や換気などに気を配りながら、簡略化された式となった。

【相洋高校】

通称「小峰の丘」として親しまれる高台にある相洋高校の新入生は467人。

式では武井理事長が新入生を歓迎、祝福。校訓の「質実剛健、勤勉努力」を示した上で

「高校時代は人生の中で大切な時期。自分で考え、責任をもって行動、努力し、自分を厳しく見つめ、多くの人から多くのことを学んでほしい」とエール。

杉崎校長は「3年間の学校生活を積極的に過ごし、それぞれ目標を持ち、多くの出会いの中で一人ひとりの相性スタイルを探してほしい。高校生活が悔いのない素晴らしいものになるかは皆さんの心構えにかかっている。大いなる成長を祈る」と激励した。

【旭丘高校】

同校ではきょう8日に始業式を実施した後、新型コロナウイルス対策の休校期間に入る。

小田原城址に隣接す

る旭丘高校には380人が入学。水野校長は新入生を祝福すると同時に、新型コロナウイルス対策の厳しい中での登校をねぎらった。

式辞の中では、「こうした状況の中、信頼できる仲間と出会い、学ぶ力と身体能力を伸ばしたい、人間社会と世界の明日に役立つ自分に成長したいと願う皆さんを、私たち教職員はしっかり受け止める。これからの3年間を、ともに学び歩んでいきましょう」と優しく呼びかけた。

また、今年はモンゴルから第3次留学生2人が入学予定だったが、新型コロナウイルスの影響で出国できず、自国で待機中だと明かした。同校の2・3年生は6日に始業式を済ませている。全学年、きょうから新型コロナウイルス対策の休校期間に入る。